



# ちしゅう

歴史と伝統 未来へつなぐ

私たちは 誇り高い  
千歳小学校の子どもです

か し こ く  
や さ し く  
た く ま し く

学ぼう  
つなごう  
やりぬこう

2025 年度 学校だより  
令和 7 年 1 0 月 2 9 日  
千歳小学校 臨時号



千歳小 HP/URL…<https://chitose-edu.jp/chitose-e/>

## 令和 7 年度全国学力・学習状況調査の結果

保護者の皆さまには、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、本年 4 月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の本校の結果がまとまりましたので、千歳市の結果公表と合わせ、その概要をお知らせいたします。

この調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し教育施策の改善を図るとともに、学校における学習指導に役立てることを目的としております。本校では今回の調査結果を踏まえ、児童の学力向上に向けたプランを作成し、学校の教育計画や日常の授業の改善に取り組んで参ります。

### I. 教科に関する調査結果

#### 国 語

⇒ 全国の平均正答率と比較して「**ほぼ同様**」という結果でした。

##### ①学習指導要領の内容別の結果

ほとんどの領域において**全国平均を上回りました**。

##### 話すこと・聞くこと

この領域の問題は全部で 3 問。目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題の正答率が全校平均を下回っていました。

⇒次頁①参照

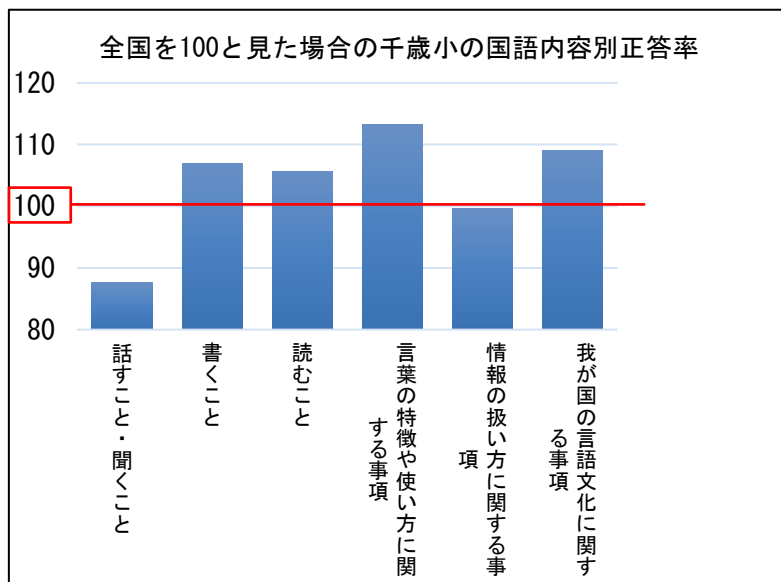
##### 書くこと

この領域の問題は 3 問。目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題はよくできていました。図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題は、正答率が全校平均をやや下回っていました。

⇒次頁②参照

##### 読むこと

この領域の問題は 4 問。事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる問題、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる問題等が出されました。4 問ともよくできていました。



## 言葉の特徴や使い方に関する事項

この領域の問題は2問。学年別漢字配当表に示されている漢字（好み・暑い）を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題が出題されました。2問ともよくできていました。

## 情報の扱い方に関する事項

この領域の問題は1問。情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題が出題されました。よくできていました。

## 我が国の言語文化に関する事項

この領域の問題は1問。時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができるかどうかをみる問題が出題されました。よくできていました。

## 全国より正答率が低かった問題①

一 「話し合いの様子」の小森さんは、インタビューをどのように進めようと考えて、\_\_\_\_ 部の発言をしましたか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。
- 2 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、相手が答えやすい内容を選ぶようにしている。
- 3 複数の質問を関連づけて聞くことで、相手が答えやすい内容を選ぶようにしている。
- 4 複数の質問を関連づけて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。

【話し合いの様子】

小森さん 小森さんの学級では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューすることにしました。バスの運転士に興味のある小森さんたちは、インタビューで質問することを話し合っています。次の「話し合いの様子」と「話し合いの記録」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にしているかを聞きたいな。きつと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を守ることは、大変そうだね。

小森さん 確かに、大変そうだね。【仕事で大切なこと】で話してくれたことをきつかけにして、【仕事で大切なこと】を聞くことができるかもしれないよ。

清川さん バスの運転士は、楽しそうだなと思っていただけ、大変なこともありそうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん きつと仕事にやりがいがあるからだよ。

清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることとやりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。

小森さん うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんなふうにまとめたよ。この進め方いいかな。

働くこと 〈バスの運転士〉

```

graph TD
    A[大切にしていること] --> B[安全を守る]
    A --> C[時間を守る]
    B --> D[大変なこと]
    C --> D
    D --> E[大変なのに続ける理由]
    F[やりがい] --> E
    
```

予想

(2) 小森さんは、インタビューをどのように進めようと考えて、\_\_\_\_ 部の発言をしましたか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。
- 2 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、相手が答えやすい内容を選ぶようにしている。
- 3 複数の質問を関連づけて聞くことで、相手が答えやすい内容を選ぶようにしている。
- 4 複数の質問を関連づけて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。

### 【問題の趣旨】

目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。

### 【正解 4】

小森さんが、複数の質問を関連付けて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしていると捉えることができる。

## 全国より正答率が低かった問題②

二 山田さんは□の中、手ぬぐいのもようについて言葉と図で説明しています。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 言葉に関係のない図を示すことで、別のもようについての興味を高めるため。
- 二つの図を並べて示すことで、もようの移り変わりを明確にするため。
- 言葉と図を合わせて示すことで、具体的に内容を理解できるようにするため。
- 言葉と図を比べて示すことで、疑問点を明確にするため。

### 【正解 3】

山田さんが、具体的に内容を理解できるようにするために、言葉と図を合わせて示していると捉えることができている。

### 【問題の趣旨】

図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

## ②正答数の分布

正答率が4問以下の児童の割合は0%でした(昨年度は約10%)。このことから、児童に基礎基本の力が身に付いていることがわかります。今後も、千歳小TRYの取組を中心としながら、全ての児童にしっかりと学力を身に付けさせるよう指導して参ります。

## ★学校ではこのような指導をします★

- 自分の意見を述べるだけでなく、友だちの意見をよく聞いて理解し、自分の意見と比較しながら考えを深める「対話」を通して、全ての子どもの資質・能力の向上に努めます。
- 書く学習では、様々な情報の中から必要な情報を見つけ出し、関係性を見いだすなどして、伝えたいことを明確に表現することができるようにします。
- 読みやすさを考えて漢字を正しく書くこと、文章の種類とその特徴を理解する活動に取り組みます。
- 読む学習では、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることや、目的に応じて、中心となる語や文を見つけて要約する活動に取り組みます。
- キーワードや文字数を意識した条件付き記述問題に対応できるよう、類似問題に取り組みます。

【ちらし】

## 手ぬぐい

手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。  
そのよさとは、どのようなものでしょう。

### よさ1 もよう

さまざまなもようがあり、好きなもようを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。

**季節を感じるもよう**  
手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。

**しゅみやすきなものに合わせたもよう**  
スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のアこのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

### よさ2 使い方

手などをふくだけではなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

#### 身に着ける使い方

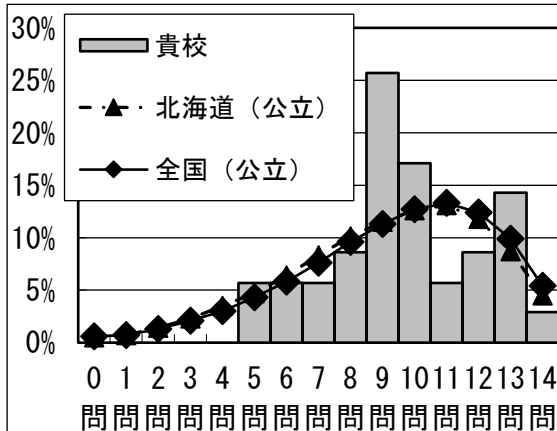
あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

#### 物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

2 山田さんの学級では、伝統工芸品について詳しく書くことにしました。山田さんは、手ぬぐいのよさについて詳しくせんする文章を、次の「ちらし」に書いています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。





## 算 数

⇒ 全国の平均正答率と比較して「やや低い」という結果でした。

### ①学習指導要領の領域別の結果

多くの領域において全国平均を下回りました。

#### 数と計算

この領域の問題は8問。小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えることができるかどうかをみる問題などがありました。分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題の正答率が全国平均を下回りました。⇒下記①参照

#### 図形

この領域の問題は4問。台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題、角の大きさについて理解しているかどうかをみる問題などがありました。4問中、3問の正答率が全国平均を下回りました。⇒次頁②参照

#### 測定

この領域の問題は2問。はかりの目盛りを読むことができるかどうかをみる問題などがありました。その中の1問は、正答率が全国平均を下回りました。

#### 変化と関係

この領域の問題は3問。「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかをみる問題などがありました。どの問題もよくできていました。

#### データの活用

目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題などがありました。5問中、4問の正答率が全国平均を下回りました。

### 全国より正答率が低かった問題①

#### 【問題の趣旨】

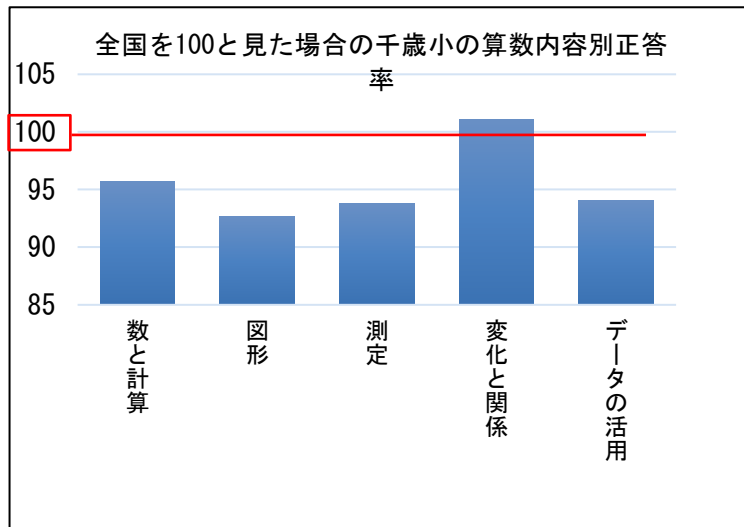
分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。

#### 【正解例】

3/4 と 2/3 のものにする数を同じ数にすると、その数は 1/12 になります。3/4 は 1/12 の 9 個分、2/3 は 1/12 の 8 個分です。

下記の3点をすべて書いていることが正答の条件

- ①3/4 と 2/3 に共通する単位分数が 1/12 であることを表す数や言葉
- ②3/4 が共通する単位分数のいくつ分かを表す数や言葉
- ③2/3 が共通する単位分数のいくつ分かを表す数や言葉



(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  についてまとめています。



$\frac{2}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の 2 個分、 $\frac{1}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の 1 個分です。  
 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  の計算は、 $\frac{1}{5}$  をもとにすると、2 + 1 を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  は、もとにする数を  $\frac{1}{5}$  にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  について考えています。



$\frac{3}{4}$  は  $\frac{1}{4}$  の 3 個分、 $\frac{2}{3}$  は  $\frac{1}{3}$  の 2 個分です。  
 もとにする数が  $\frac{1}{4}$  と  $\frac{1}{3}$  でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$  はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$  はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

## 全国より正答率が低かった問題②

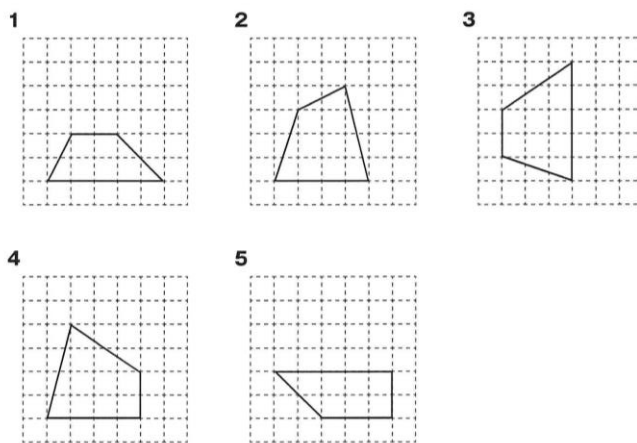
### 【問題の趣旨】

台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる。

### 【正解例】

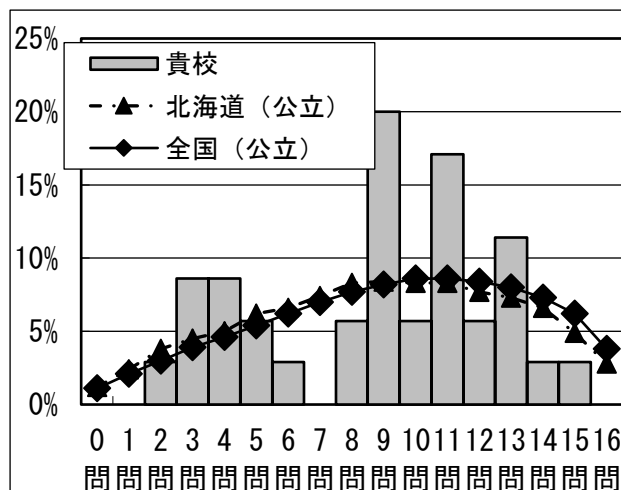
本設問では、台形の意味や性質について理解しているかどうかを問うている。ここでは、方眼上の四角形を台形と捉えるために、向かい合った一組の辺が平行であることに着目することが必要である。

(2) わかなさんは、方眼紙に下の 1 から 5 までの四角形をかきました。  
下の 1 から 5 までの中で、台形はどれですか。  
3つ選んで、その番号を書きましょう。



### ②正答数の分布

正答数が8問以上と6問以下で棒グラフの山が2つに分かれています。中間層が比較的少なく、定着層と伸びしろ層の二極化が見て取れます。正答数の多い児童もいますが、全体的な学力の底上げが必要です。算数も国語と同様、千歳小TRYの取組を更に充実させることで、基礎・基本の定着を図っていきます。また、日常の具体的な場面とリンクさせながら、数学的思考も培っていけるよう指導して参ります。



### ★学校ではこのような指導をします★

- 計算の学習では、簡単な図を書いて確認させたり、□を使った式を立てさせたりする活動を取り入れ、問題場面どおりに数量の関係を式に表す学習に取り組みます。
- 図形の学習では、実際に動かしたり描いたりする活動やICTを活用して具体的なイメージを持たせるなど、図形の意味や性質について理解させます。また、図形の意味や性質を基に図形の構成の仕方について考察したりすることができる力を身に付けさせます。
- 変化と関係の学習では、伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述ことができるような活動を進めていきます。
- 日常生活の問題を解決するために、目的に応じて収集したデータを分類整理し、表やグラフを用いて、身の回りの事象について考察できるようにします。また、グラフの特徴を理解し、情報を読み取ることができる力を身に付けさせます。
- 習熟度別指導による指導や学習支援員の活用、重点単元を指定して学習する、A I ドリルを効果的に活用する等、一人一人にあった方法で力を伸ばす取組を充実させます。

⇒ 全国の平均正答率と比較して「**ほぼ同様**」という結果でした。

### ①学習指導要領の領域別の結果

**エネルギーの領域が全国平均と比べ高い正答率となりましたが、粒子・生命・地球の3つの領域で全国平均を下回りました。**

#### エネルギー

この領域の問題は4。電流が作る磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることを知識が身に付いているかどうかをみる問題などがありました。全体的によくできていましたが、身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることを知識が身に付いているかどうかをみる問題の正答率が全国平均を下回りました。

#### 粒子

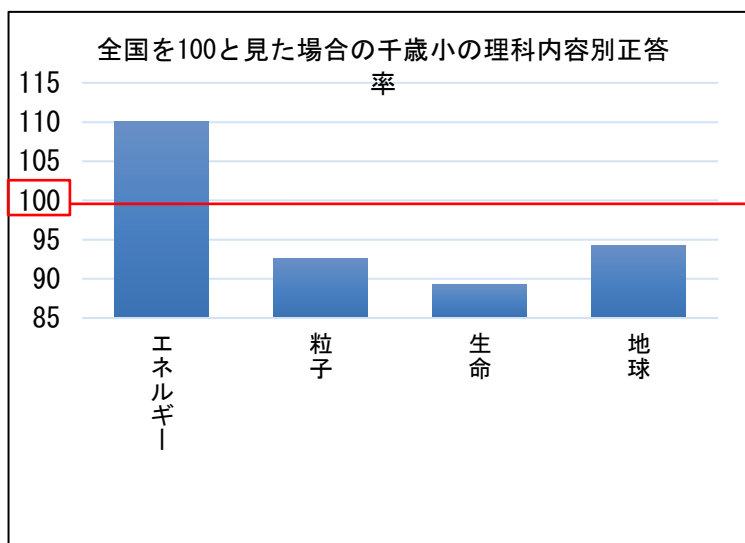
この領域の問題は6問。「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現することができかどうかをみる問題などがありました。6問中、4問の正答率が全国平均を下回りました。

#### 生命

この領域の問題は4問。ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうかをみる問題などがありました。4問中、3問の正答率が全国平均を下回りました。 ⇒下記①参照 ⇒次頁②参照

#### 地球

この領域の問題は6問。氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解しているかどうかをみる問題などがありました4問中、3問の正答率が全国平均を下回りました。



### 全国より正答率が低かった問題①

てるみさんたちは、ヘチマの花粉をけんび鏡で観察することになりました。

けんび鏡を操作すると、観察する物の見え方が変わるね。

(2) けんび鏡を操作したとき、キとクのように、操作する前と後で見え方が変化しました。キとクはどのような操作をしたのか、下の1から4の中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。

	操作する前	操作した後
キ		
ク		

- 対物レンズをちがう倍率のものにした
- プレパラートを動かした
- 明るさを調節した
- 調節ねじを回した

#### 【問題の趣旨】

顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いているかどうかをみる。

#### 【正解 キ→4 ク→4】

キでは像を移動させるためにプレパラートを動かし、クでは像のピントを合わせるために調節ねじを回す操作について正しく捉えている。

## 全国より正答率が低かった問題②

### 【問題の趣旨】

レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかをみる。

### 【正解 1・3・5】

レタスの種子が発芽するために、日光は必要なのだろうか。

以下の①、②の全てを記述していることが正答の条件。

- ① <条件>から、日光または肥料について、1つ選んで記述しているもの
- ② レタスの発芽に関し、疑問を示す趣旨で記述しているもの

たかひろさんたちは、レタスの種子を発芽させようとしています。

たかひろ  
レタスの種子を発芽させようと思って、水、空気、温度の条件を下のようにしたのに、1つも発芽しなかったよ。

たかひろさんが行った実験

〈条件〉

- ・水あり
- ・空気あり（種子が空気にふれている）
- ・温度（室温）
- ・日光なし（箱をかぶせている）
- ・肥料なし

水、空気、温度のほかにも、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるのかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、上の〈条件〉の中から1つ選んで調べてみたい。

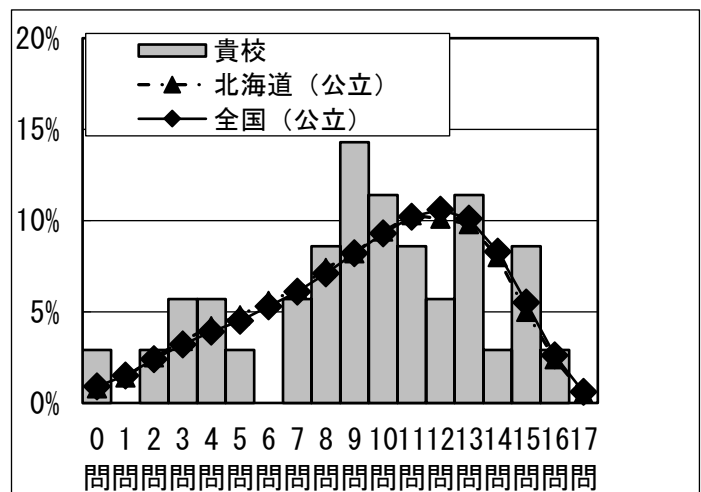
てるみ

(4) てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけました。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。

## ②正答数の分布

正答数が7問以上と5問以下で棒グラフの山が2つに分かれています。算数と同様、中間層が比較的少なく、定着層と伸びしろ層の二極化が見て取れます。段階的に知識を積み上げ、反復学習を通して確実な理解を目指すことに取り組んでいきたいと思います。

## ★学校ではこのような指導をします★



○問題解決の活動の導入の段階において、児童自身が問題を見いだすことで、「解決してみたい」という意欲を喚起する。

○予想を発想する場面や結果の見通しを持たせる場面を設定する。

○問題解決の活動の過程で生まれた新たな疑問も大切にする。

○他者の気付きも捉えながら、対話的な学びを通してより妥当な問題を見いだす力を育成する。

○問題解決の活動を通して得た知識を、日常生活や他教科等の学びに当てはめてその関連性を考えたりする活動を設定する。



## Ⅱ. 学習状況調査（児童質問紙）から

※数値は肯定的回答をした児童の割合です。特徴的なものを以下に抜粋して掲載します。

### 全国と比較して肯定的回答をした児童の割合が高かった質問

○毎日同じくらいの時刻に寝ていますか	千歳小	94%	全国	82%
○人の役にたつ人間になりたいと思いますか	千歳小	100%	全国	96%
○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	千歳小	84%	全国	78%
○友達関係に満足していますか	千歳小	100%	全国	92%
○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	千歳小	97%	全国	93%
○あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますと思いますか	千歳小	88%	全国	77%
○タブレットなどのICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができますか	千歳小	88%	全国	78%
○5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	千歳小	91%	全国	80%
○5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	千歳小	97%	全国	83%
○授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか	千歳小	94%	全国	83%
○学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	千歳小	91%	全国	81%
○国語の授業の内容はよく分かりますか	千歳小	97%	全国	83%
○算数の授業の内容はよく分かりますか	千歳小	81%	全国	78%
○理科の勉強は得意ですか	千歳小	91%	全国	78%
○理科の勉強は好きですか	千歳小	94%	全国	80%
○理科の授業の内容はよく分かりますか	千歳小	100%	全国	89%

### 全国と比較して肯定的回答をした児童の割合が低かった質問

○自分にはよいところがあると思いますか	千歳小	75%	全国	87%
○学校に行くのは楽しいと思いますか	千歳小	75%	全国	87%
○読書は好きですか	千歳小	56%	全国	70%
○国語の勉強は得意ですか	千歳小	50%	全国	61%
○国語の勉強は好きですか	千歳小	47%	全国	58%
○算数の勉強は得意ですか	千歳小	53%	全国	60%
○算数の勉強は好きですか	千歳小	47%	全国	58%

ほとんどの項目で、肯定的な回答をした児童の割合が全国を上回る結果となりました。「人の役にたつ人間になりたい」「友達関係に満足している」「理科の授業の内容はよくわかる」の3つの項目は、肯定的な回答をした児童が100%でした。上記に記載したのは質問紙の回答の一部ですが、全国と比較しても、千歳小学校の児童はすくすくと素直に成長していることがよくわかる結果となりました。国語や算数の勉強に苦手意識はあるようですが、どちらの教科も「よくわかる」という回答が全国よりも高い数値となりました。児童の「勉強が好き」という気持ちを高めることで、学習に対しての意欲を向上させていけるよう、日々の授業づくりを充実させていきたいと思っています。今後も、家庭や地域と協力しながら家庭学習の定着や望ましい生活習慣の確立へ向けた取組を充実させていきたいと思っています。皆様の引き続きのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今後も学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」の実現を目指し、教育活動を推進して参ります。